

夢づくり地域交付金事業の概要（地区別）

（釜戸地区）

夢づくり地域交付金事業の概要（地区別）

事業番号及び事業名	事業の概要	活動内容	成果目標	事業費	交付金の額
1 竜吟のもりウォーキングコース整備事業	昭和52年3月に岐阜県から特別緑地保全地区に指定された、事業地である「竜吟峡」は釜戸町まちづくり推進協議会が、平成25年度から指定管理者として管理運営をおこなっている。 敷地内にはさまざまなウォーキングコースがあり、来訪者に自然への親しみや憩いと癒しの空間を提供している。 しかし、コース内の木階段の老朽化や、遊歩道の陥没など来訪者の安全に危惧する状況となっています。 そのため、木階段の整備や、遊歩道のぬかるみ対策として、水路の整備を行い、来訪者の安全とより親しめる環境基盤の整備を図ります。	・ウォーキングコース(アルプスの小径)、 「一の滝」遊歩道の整備	・ウォーキングコースの階段整備、段差解消 ・遊歩道の水路整備 ・遊歩道の水路整備草刈り	704,394	500,000
2 “てくてく釜戸”健康&ふれあいウォーキング事業	町民一人ひとりが最も手軽に行える運動“ウォーキング”を自発的に取り入れ、生活習慣病の予防や寝たきり、介護を要しない健康な体づくりに取り組めるよう、町全体でサポートしていきます。 ウォーキングの持つフレッシュ効果により、健やかな心身の健康維持と健康管理意識の高揚を図ります。 隣近所で誘い合って、世間話をしながらウォーキングをすることで、健康維持をしながら人のつながりを築きます。 なお、ウォーキングは、健康・シェイプアップ、ふるさと再発見・歴史史跡ウォッチ、うきうき、ソーシャルの4つに大別し、今年度は41回の開催を予定しています。 また、健康管理意識・知識の効用を図るため、健康講義を3回実施します。	・ウォーキングの実施(4種41回) ・参加者の健康データの検証(3箇年計画) ・ポイントカードの配布(記念品付き)	・ウォーキング参加者 350人 ・参加者の健康データの向上 ・フルディックウォーキングの普及	469,450	251,000
3 和太鼓指導環境の充実整備事業	少子化が進むなか、子ども達が地域の中で健全に育ち、郷土愛を育み、将来の地域振興の要となるよう、その成長を見守る必要があります。中学校の統合もあり、子ども達と地域との関わりが希薄化することが危惧されます。 これまで太鼓演奏は、釜戸中学校のカリキュラムにも組み入れられ、プロの太鼓団体の指導も受け、子ども達と一緒にオリジナル曲を演奏しています。 町の活性化、青少年健全育成の環境をより充実するため、これまでに7台の太鼓を整備しました。今年度は、技術の向上とともに、プロの太鼓団体の招致、指導環境の充実整備を図ります。	・プロの和太鼓集団の招致、指導 ・新規青少年団員勧誘	・新規青少年団員加入目標 3名	400,000	270,000
4 夢づくりチャレンジ研究室との協調事業 【”竜吟迷宮からの脱出！”謎解きゲーム&ウォーキング】	平成28年度より3か年計画で取り組んでいる町民ウォーキング事業(てくてく釜戸)において、参加者の固定化、若年層の参加が乏しいといった課題が見えてきました。 当事業は、史跡や名所を渡り歩き、健康づくりと新たな釜戸町を発見する中で、参加者同士の絆作りを目的としています。この趣旨からも幅広い年齢層を取り込む必要があり、事業にイベント性を持たせることが必要と感じました。 そこで、夢づくりチャレンジ研究室が考案した、“ウォーキング&脱出ゲーム”を取り入れ、若年層の参加を促す起爆剤とし、事業のさらなる拡充を図ります。	・謎解きゲーム&ウォーキングイベント、交流会	・イベント参加者 196名	467,690	300,000 (うち加算額 300,000円)
小 計				2,041,534	1,021,000